

# 最近の管内経済概況

(2020年9月の経済指標を中心として)

～ **新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるが、一部に持ち直しの兆しがみられる** ～

最近の動きをみると、

- 生産活動は、持ち直しの兆しがみられる。
- 個人消費は、一部に弱さが残るものの、持ち直しの動きがみられる。
- 観光は、一部に持ち直しの兆しがみられる。
- 公共工事は、増加している。
- 住宅建設は、下げ止まりの動きがみられる。
- 民間設備投資は、減少している。
- 雇用動向は、弱い動きがみられる。
- 企業倒産は、件数は同数、負債総額は減少している。

全体として、管内経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるが、一部に持ち直しの兆しがみられる。

なお、先行きについては、新型コロナウイルス感染症の影響、国際経済の動向等を十分注視する必要がある。

※ 下線部は、前月から判断を変更した部分。

2020年11月16日

照会先 : 経済産業省 北海道経済産業局  
総務企画部 企画調査課

T E L : 011-709-2311 内線 2525

E-mail : hokkaido-kikakuchosa@meti.go.jp

U R L : <https://www.hkd.meti.go.jp>

# 管内経済概況判断の推移

(2020年11月現在)

発表月	2020年6月	7月	8月	9月	10月	11月	前月との判断比較
総括判断	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況となっている	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況となっている	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるが、一部に下げ止まりの動きがみられる	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるが、一部に下げ止まりの動きがみられる	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるが、一部に下げ止まりの動きがみられる	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるが、一部に持ち直しの兆しがみられる	
生産活動	急速に低下している	急速に低下している	下げ止まりの動きがみられる	下げ止まりの動きがみられる	下げ止まりの動きがみられる	持ち直しの兆しがみられる	
個人消費	一部が急速に低下している	一部が急速に低下している	一部に弱さが残るものの、持ち直しの動きがみられる	一部に弱さが残るものの、持ち直しの動きがみられる	一部に弱さが残るものの、持ち直しの動きがみられる	一部に弱さが残るものの、持ち直しの動きがみられる	
観光	悪化している	悪化している	一部に下げ止まりの動きがみられる	一部に下げ止まりの動きがみられる	一部に持ち直しの兆しがみられる	一部に持ち直しの兆しがみられる	
公共工事	増加している	減少している	増加している	減少している	減少している	増加している	
住宅建設	低下している	低下している	低下している	低下している	低下している	下げ止まりの動きがみられる	
民間設備投資	おおむね横ばいとなっている	減少している	減少している	減少している	減少している	減少している	
雇用動向	弱い動きがみられる	弱い動きがみられる	弱い動きがみられる	弱い動きがみられる	弱い動きがみられる	弱い動きがみられる	
企業倒産	件数、負債総額とも増加している	件数、負債総額とも減少している	件数、負債総額とも減少している	件数、負債総額とも減少している	件数、負債総額とも減少している	件数は同数、負債総額は減少している	

※下線部は、前月から判断を変更した部分。

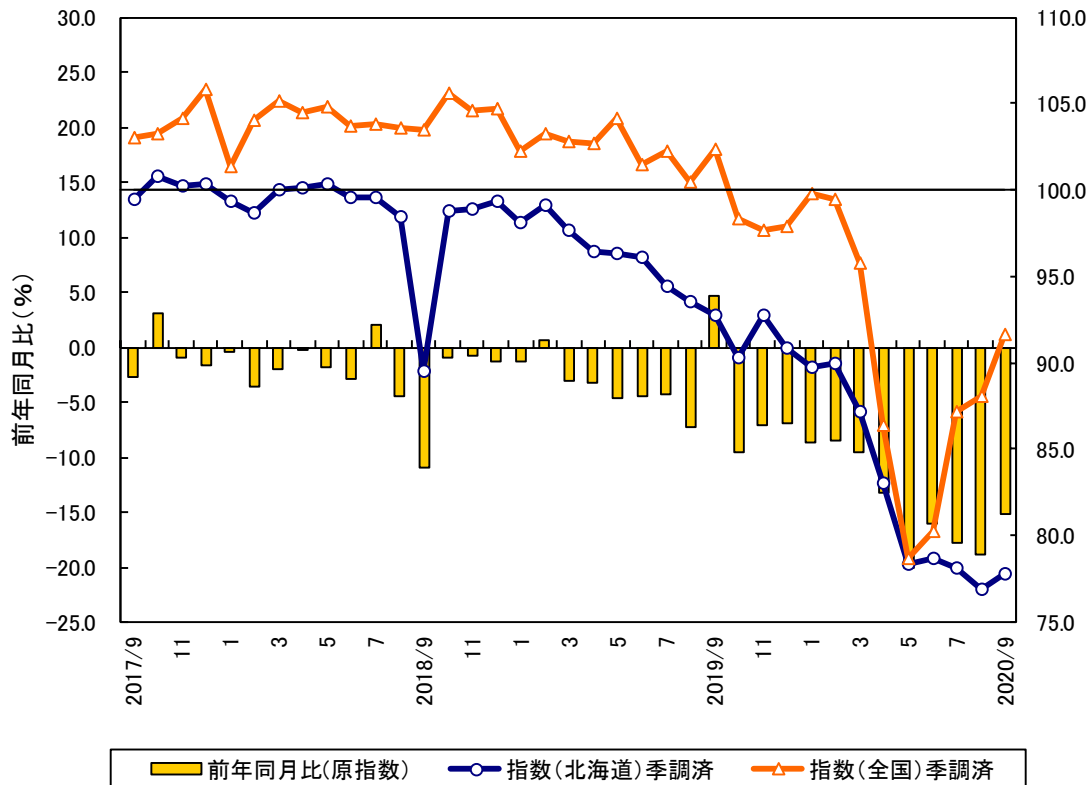
上方修正 据え置き 下方修正

# 生産活動 ～ 持ち直しの兆しがみられる ～

9月の鉱工業生産は、前月比+1.2%と3か月ぶりに上昇した。  
 上昇業種は、電気機械工業など7業種となった。低下業種は、食料品工業など8業種となった。

< 9月 >	
季節調整済指数	
北海道 (速報)	77.8 (前月比+ 1.2%)
全国 (速報)	91.6 (前月比+ 4.0%)

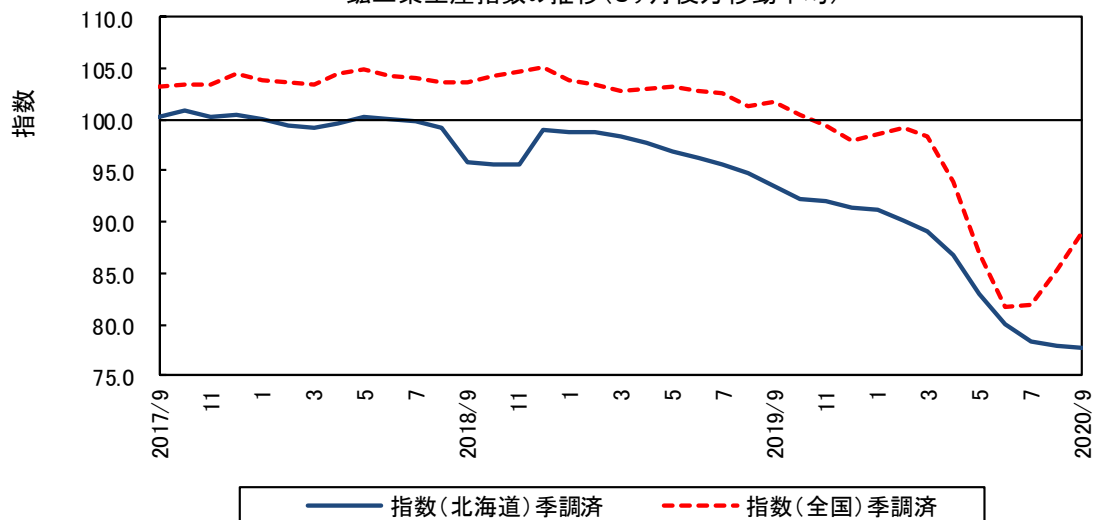
鉱工業生産指数 (2015年=100.0)



## 【ヒアリング内容】

- 中国、欧米からの需要が回復しているため、集積回路の生産が増加した。(電気機械工業)
- チラシ向けの需要が回復してきたことから、印刷用紙の生産が増加した。(パルプ・紙・紙加工品工業)
- 新型コロナウイルス感染症の流行により、観光客や外食が減少した影響で、業務用の需要が減ったため、冷凍水産物の生産が減少した。(食料品工業)
- 自動車部品の生産は、中国向けなどが好調であることや、新型車の販売が好調であることから、前年並みに戻ってきている。(輸送機械工業)

鉱工業生産指数の推移(3ヶ月後方移動平均)

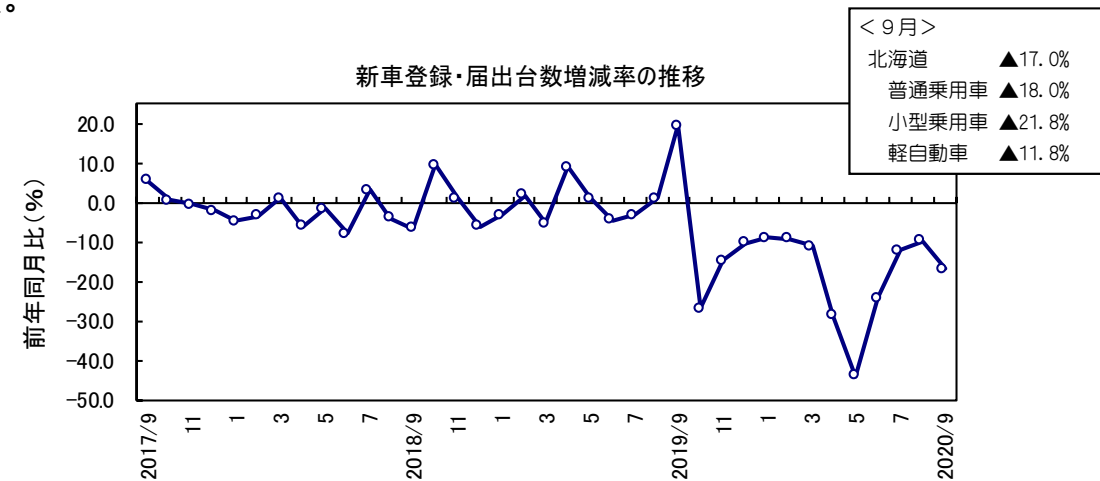
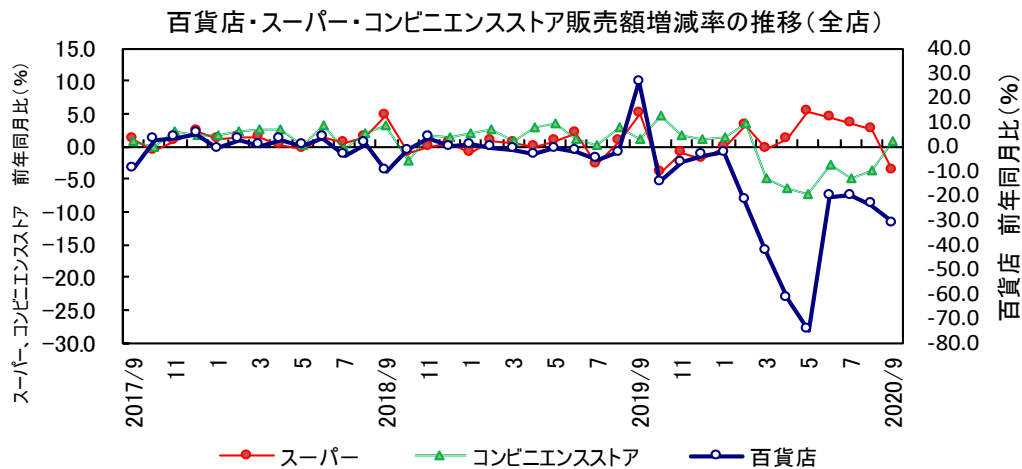


(資料：経済産業省、北海道経済産業局)

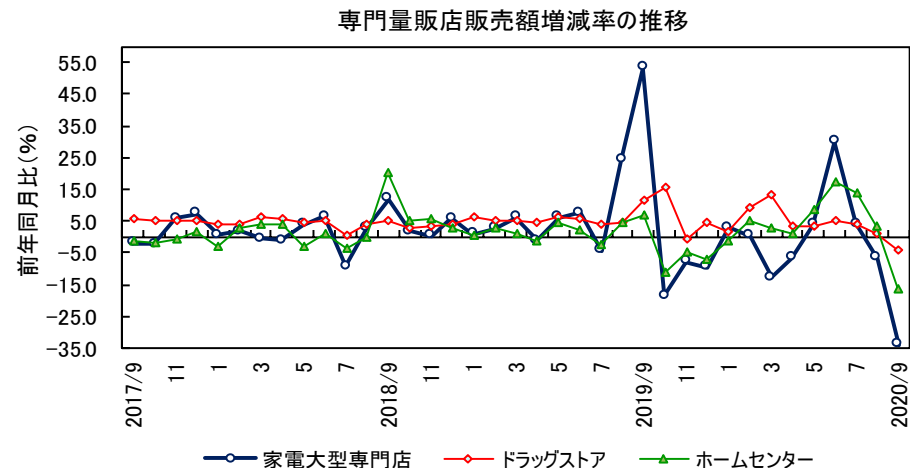
# 個人消費 ～ 一部に弱さが残るものの、持ち直しの動きがみられる ～

9月の個人消費は、コンビニエンスストアは前年を上回ったものの、他の業態は前年を下回った。

- 百貨店は、外出の自粛傾向などにより、前年同月比▲31.2%と12か月連続で前年を下回った。
- スーパーは、内食需要の継続から、飲食料品が堅調だったものの、衣料品などの不振により、同▲3.8%と6か月ぶりに前年を下回った。
- コンビニエンスストアは、同+0.8%と7か月ぶりに前年を上回った。
- 家電販売は、同▲33.8%と2か月連続で前年を下回った。ドラッグストアは、同▲4.0%と10か月ぶりに前年を下回った。ホームセンターは、同▲16.4%と8か月ぶりに前年を下回った。
- 新車販売は、同▲17.0%と12か月連続で前年を下回った。



(資料：(一社)日本自動車販売協会連合会、(一社)全国軽自動車協会連合会)



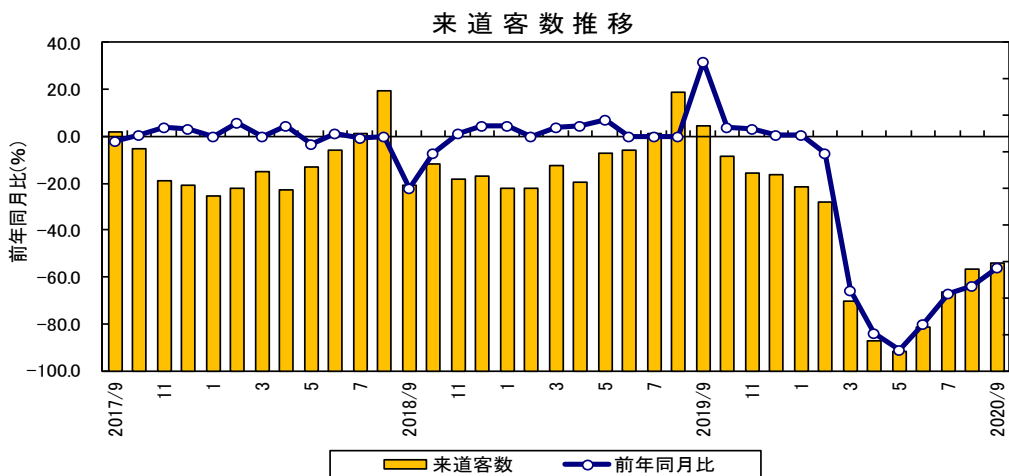
(資料：北海道経済産業局)

## 【ヒアリング内容】

- 新型コロナウイルス感染症による影響や前年の消費増税前に需要が伸びたことなどにより、衣料品や化粧品は前年を大きく下回る動きとなっている。(百貨店)
- 10月からのたばこの値上げ前の駆け込み需要により、特に月末の売上が急増した。(コンビニエンスストア)
- 前年に需要の前倒しがみられた日用品や暖房機器などは、反動減により前年を下回ったが、巣ごもり需要は一時期より弱まりつつも継続しており、DIY関連やレジャー用品を中心に好調な動きが続いている。(ホームセンター)
- 10月に入り、客数が若干回復しているように感じられる。GoToトラベルキャンペーンの影響なのか、店内で観光客の姿が見られるようになった。(百貨店)

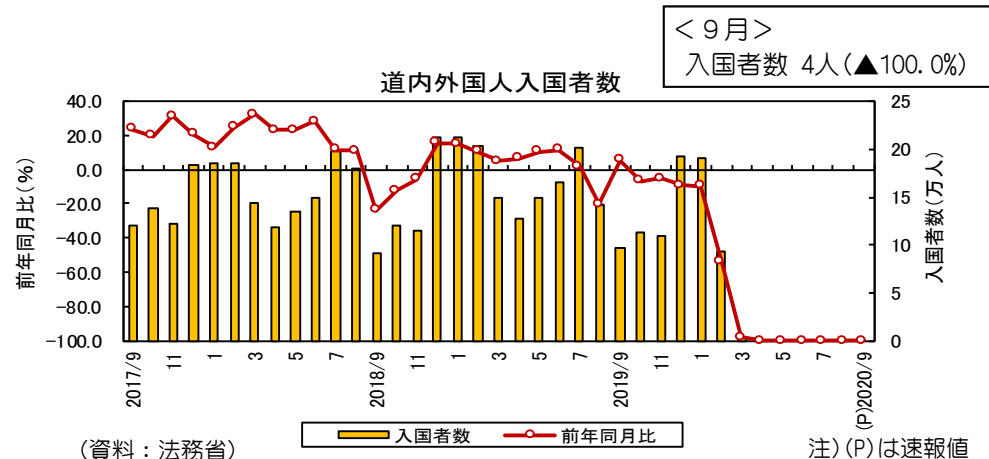
# 観光 ～ 一部に持ち直しの兆しがみられる ～

9月の来道客数は、前年同月比▲56.3%と8か月連続で前年を下回った。また、道内外国人入国者数は、4人で同▲100.0%と12か月連続で前年を下回った。



<9月> 来道客数 587,472人 (▲56.3%)  
 ※北海道外から航空機(国内線)、JR(北海道新幹線)、フェリーを利用して来道した旅客数。  
 ※道内で入国手続きを行った外国人数は含まない。

(資料：(公社)北海道観光振興機構)



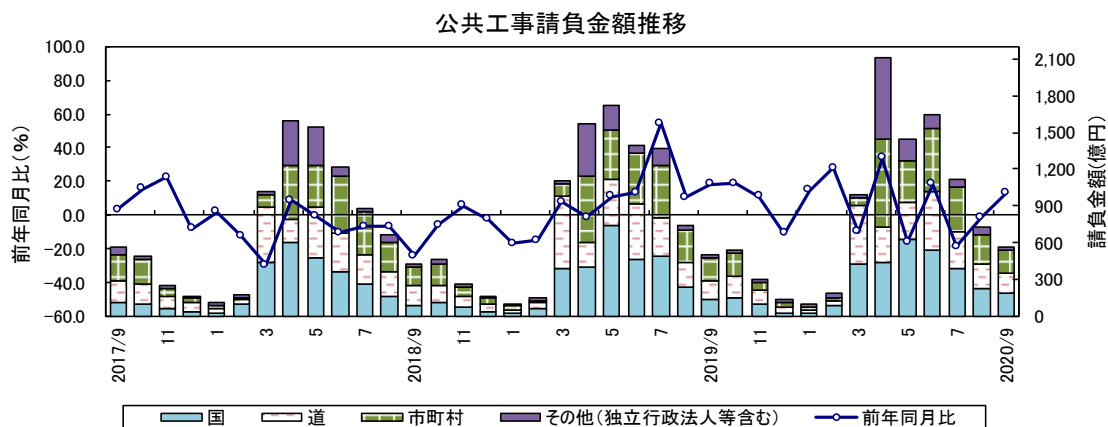
(資料：法務省)

## 【ヒアリング内容】

- 9月の宿泊者数は、例年の5割程度まで回復した。宿泊者数は国内客を中心に徐々に回復してきている。(関係機関)
- 10月は、東京都居住者の旅行について、GoToトラベルキャンペーンの支援対象となったこともあり、宿泊者数も回復が続く見通しである。(関係機関)

# 公共工事 ～ 増加している ～

9月の公共工事請負金額は、国、道、市町村の全てで前年を上回り、前年同月比+13.1%と3か月ぶりに前年を上回った。



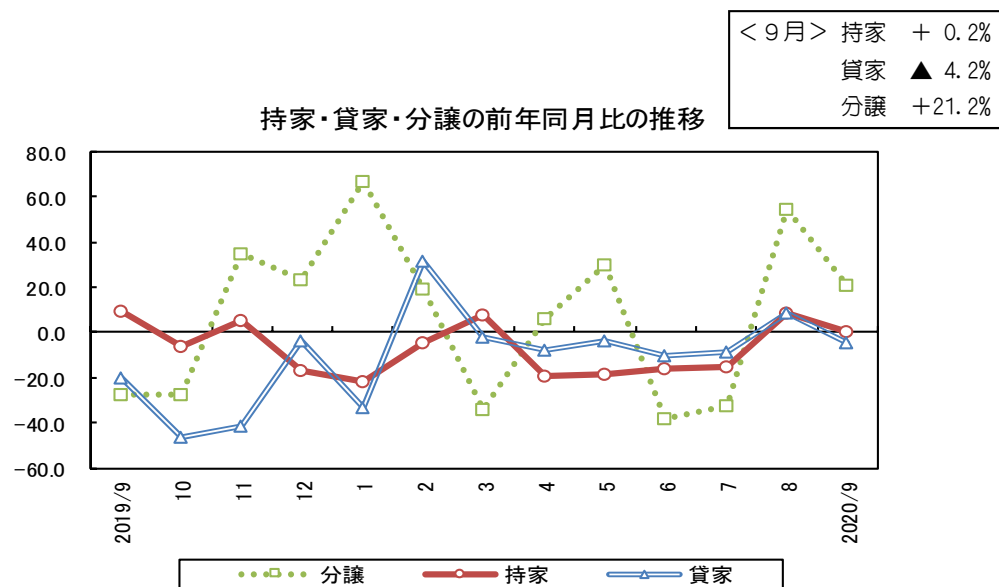
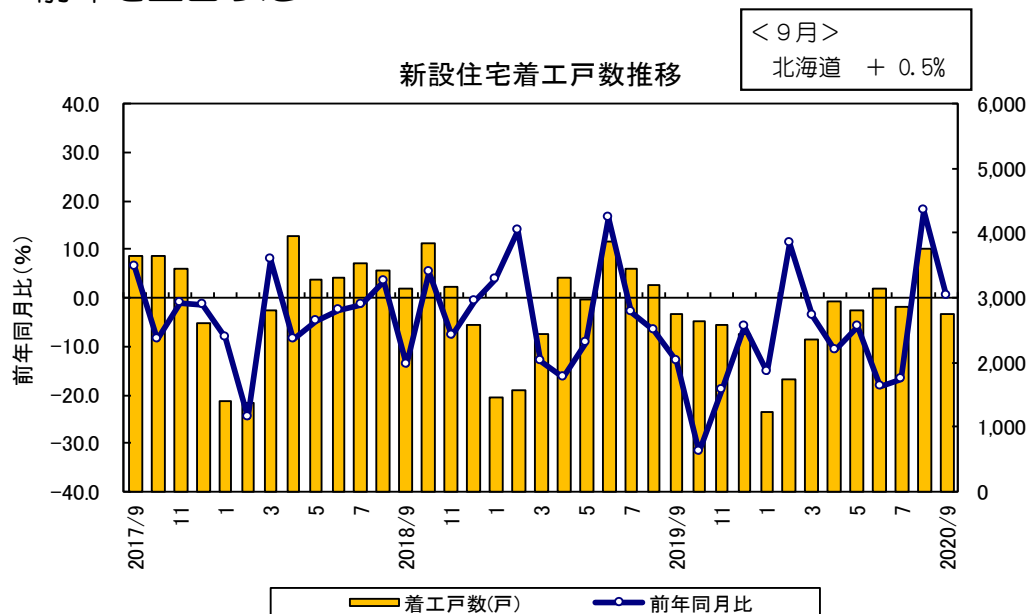
<9月>  
 北海道 +13.1%  
 (内訳)  
 国 +34.6% 道 +7.6% 市町村 +4.3% その他 ▲6.3%

(請負金額は国、道、市町村、独立行政法人等の合計額)

(資料：北海道建設業信用保証(株)ほか2社)

# 住宅建設 ～ 下げ止まりの動きがみられる ～

9月の新設住宅着工戸数は、貸家は前年を下回ったが、持家と分譲が前年を上回り、前年同月比+0.5%と2か月連続で前年を上回った。



(資料：国土交通省)

# 民間設備投資 ～ 減少している ～

2020年度の設備投資計画は、全体で前年度比▲8.8%と4年ぶりに前年度を下回る計画となっている。

日銀短観の設備投資動向

2020年10月1日発表

	2019年度	2020年度計画
北海道	+ 14.6%	▲ 8.8%
製造業	+ 17.7%	+ 8.8%
非製造業	+ 13.2%	▲ 17.3%
全国	▲ 0.6%	▲ 2.7%

注) 土地投資額を含み、ソフトウェア投資額、研究開発投資額を除く。

注) 北海道は、電気・ガスを除くベース。

(資料：日本銀行札幌支店)

法人企業景気予測調査(北海道・設備投資)

2020年9月11日発表

	2019年度	2020年度
全産業	+ 17.8%	▲ 3.3%
製造業	+ 27.1%	▲ 9.4%
非製造業	+ 13.6%	+ 0.6%

※数値は対前年比増減率。

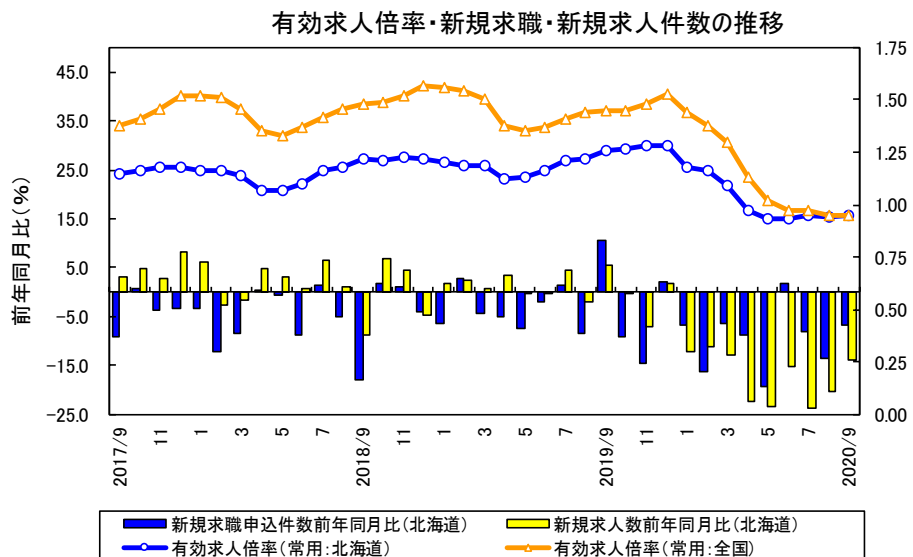
注) ソフトウェア投資額を含み、土地購入額を除く。

(資料：北海道財務局)



# 雇用動向 ～ 弱い動きがみられる ～

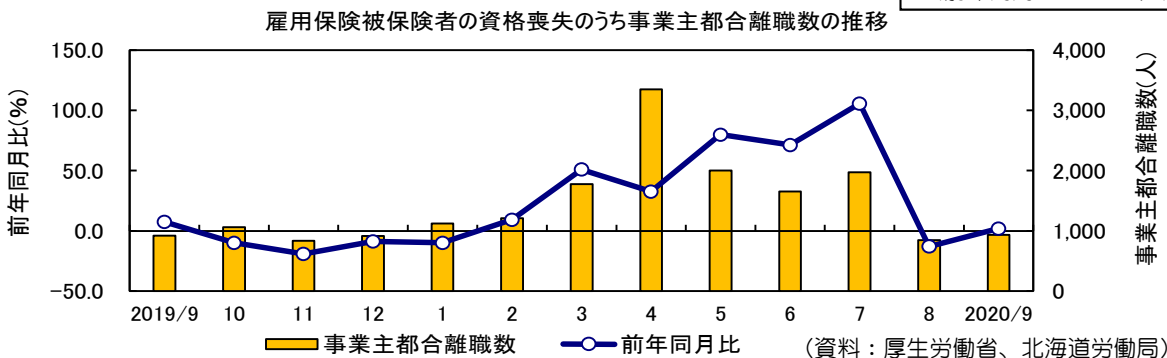
9月の有効求人倍率は、0.95倍と前年同月差0.31ポイント減少し、9か月連続で前年を下回った。



< 9月 >

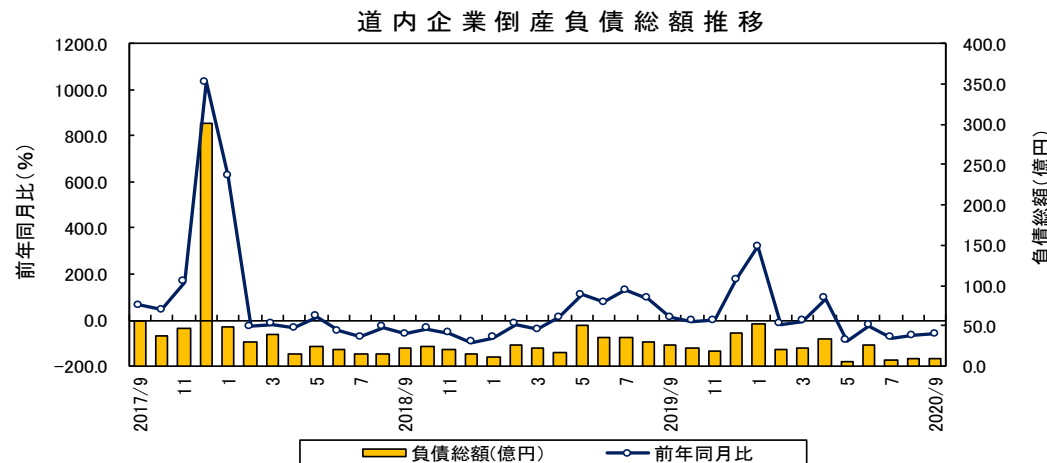
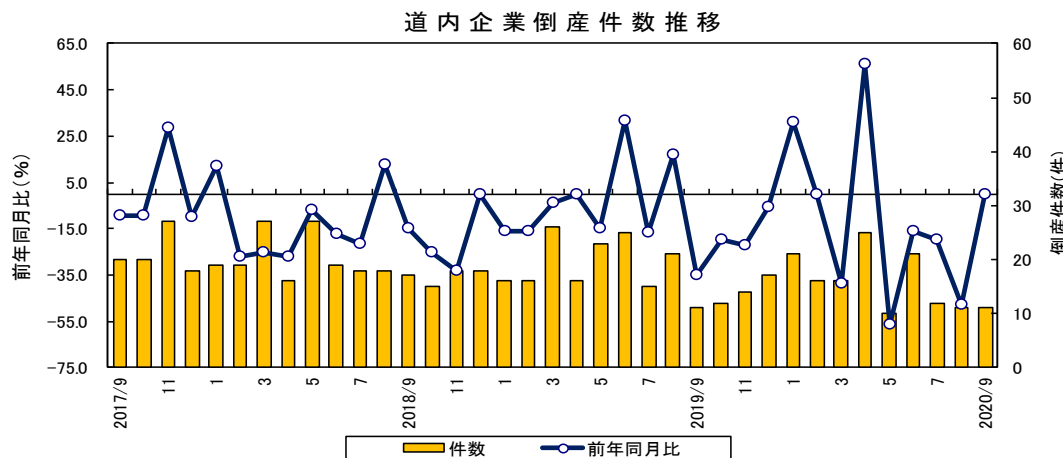
北海道	有効求人倍率(常用)	0.95倍
	新規求人件数(前年同月比)	▲13.9%
	新規求職申込件数(前年同月比)	▲6.6%
全国	有効求人倍率(常用)	0.95倍

< 9月 >  
事業主都合離職数 936人  
(前年同月比 + 2.0%)



# 企業倒産 ～ 件数は同数、負債総額は減少している ～

9月の倒産件数は11件で、前年同月と同数となった。また、負債総額は10.3億円で同▲59.6%と5か月連続で前年を下回った。



(資料：(株)東京商工リサーチ)